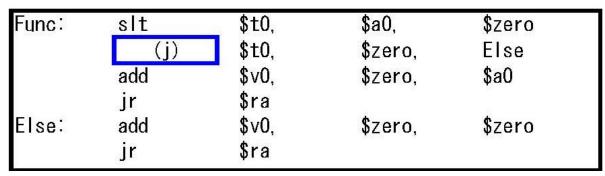
演習1:

下図の Func 関数および Sum 関数のCコードを変換した右図のアセンブリコードの空欄を埋めよ。

```
int Sum(int n) {
  int s = 0;
  int i;
  for (i=-n; i<=n; i++) {
    s += Func(i);
  return s;
int Func(int n) {
  if (n>=0) {
    return n;
  else {
    return 0;
```

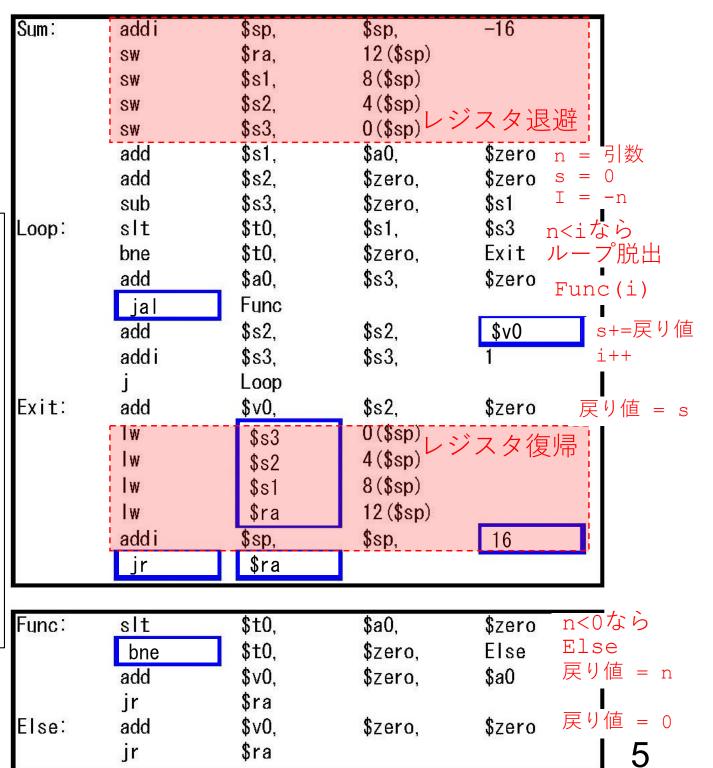
Sum:	add i	\$sp,	\$sp,	-16
	SW	\$ra,	12 (\$sp)	
	SW	\$ s1,	8 (\$sp)	
	SW	\$s2,	4 (\$sp)	
	SW	\$ s3,	0(\$sp)	
	add	\$ s1,	\$a0,	\$zero
	add	\$s2,	\$zero,	\$zero
	sub	\$s3,	\$zero,	\$ s1
Loop:	sIt	\$t0,	\$ s1,	\$ s3
	bne	\$±0,	\$zero,	Exit
	add	\$a0,	\$ s3,	\$zero
	(a)	Func		
	add	\$s2,	\$ s2,	(b)
	add i	\$ s3,	\$ s3,	1
	j	Loop		
Exit:	add	\$v0,	\$ s2,	\$zero
	l w	(c)	0 (\$sp)	
	l w	(d)	4 (\$sp)	
	l w	(e)	8 (\$sp)	
	l w	(f)	12 (\$sp)	
	addi	\$sp,	\$sp,	(g)
	(h)	(i)	,,	36/



演習1解答:

どの部分が何をやっているのかを理解した上で詳細を検討する。

```
int Sum(int n) {
  int s = 0;
  int i;
  for (i=-n; i<=n; i++) {
    s += Func(i);
 return s;
int Func(int n) {
  if (n>=0) {
    return n;
 else {
    return 0;
```



演習2:

オブジェクトファイル main.o および proc1.o がそれぞれ右図のように与えられているとき、これらをリンクした下図の実行ファイルの空欄にあてはまる数値を16進数で答えよ。但し、下図のアドレス(c)の jal 命令は main.o の jal 命令に対応し、下図のアドレス(e) および(g)の lw 命令およびsw 命令はそれぞれ、proc1.o の lw 命令および sw命令に対応するものとする。また、\$gp の値は 10008000_{16} とせよ。

		10			
リンク結果					
リンク結果		テキスト・サイズ	(a)		
		データ・サイズ	(b)		
		アドレス			
		00400000 ₁₆	lw \$t0,8000 ₁₆ (\$gp)		
	テキスト・セグメント	(c)	jal (d)		
		(e)	lw \$t0, (f) (\$gp)		
		(g)	sw \$t1, (h) (\$gp)		
	データ・セグメント	10000000 ₁₆	(X)		
		(i)	(Y)		
		(j)	(Z)		

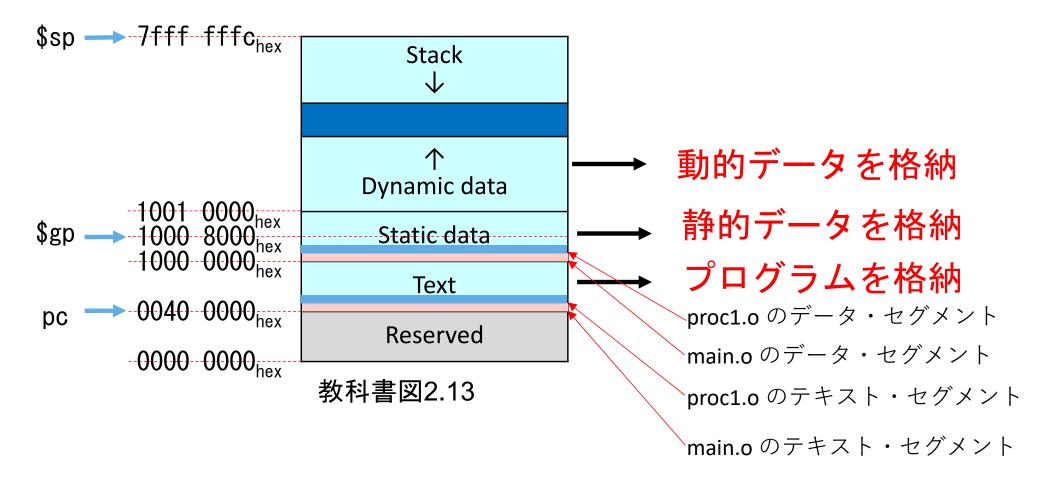
١.	0	名前	main	
	ヘッダ	テキスト・サイズ	500 ₁₆	
		データ・サイズ	50 ₁₆	
		アドレス		
	ニナフし	0 ₁₆	lw \$t0,0(\$gp)	
	テキスト・セグメント			
		30 ₁₆	jal 0	
	データ・セ グメント	0 ₁₆	(X)	
	11 - 6	アドレス	命令タイプ	依存関係
	リロケーション情報	0 ₁₆	lw	X
	/ J / ID +IX	30 ₁₆	jal	proc1
		ラベル	アドレス	
	シンボル表	X	_	
		proc1	-	

mair

nroc1		名前	proc1	
proci	.0 ヘッダ	テキスト・サイズ	300 ₁₆	
		データ・サイズ	30 ₁₆	
	- + - 1	アドレス		
		0 ₁₆	lw \$t0,0(\$gp)	
	テキスト・セグメント		•••	
		70 ₁₆	sw \$t1,0(\$gp)	
			:	
	データ・セ グメント	0 ₁₆	(Y)	
		4 ₁₆	(Z)	
			•••	
11.00	リロケーション情報	アドレス	命令タイプ	依存関係
		0 ₁₆	lw	Y
		70 ₁₆	SW	Z
	シンボル表	ラベル	アドレス	
		Y	-	
		Z	-	
93			_	
				_

【再揭】

メモリ上でのプログラムとデータの配置 (MIPSの場合)



リンカは、与えられたオブジェクトファイルに書かれているプログラム(テキスト・セグメント)や静的データ(データセグメント)のメモリ上での配置(アドレス)を決定し、それが書かれた「実行可能なオブジェクトファイル」を生成する。

演習2解答:

一 手	1					
	ヘッダ	テキスト・サイズ	(a)			
		データ・サイズ		(b)		
		アドレス				
		00400000 ₁₆	lw \$t0,8000 ₁₆ (\$gp)		(\$gp)	
		•••	•••			
	ニセフト・	(c)	jal		(d)	
	テキスト・ セグメント	•••	•••			
		(e)	lw	\$t0,	(f)	(\$gp)
		•••	•••			
		(g)	SW	\$t1,	(h)	(\$gp)
		•••	•••			
		1000000 ₁₆	(X)			
	<i>ニ</i>	•••	•••			
	データ・セグメント	(i)	(Y)			
		(j)	(Z)			
		•••			•••	

演習3:

Lecture 8 で扱った「最終バージョンの乗算アルゴリズム」に沿って、4ビットの被乗数 7_{10} と乗数 5_{10} の積を求める過程を書け。

サイクル	ステップ	被乗数レジスタ	積レジスタ
0	初期值	0111	
1	積レジスタのLSBが1なら被乗数を積レジスタの左半分に足す	0111	
	積レジスタを右シフト	0111	
2	積レジスタのLSBが1なら被乗数を積レジスタの左半分に足す	0111	
2	積レジスタを右シフト	0111	
3	積レジスタのLSBが1なら被乗数を積レジスタの左半分に足す	0111	
5	積レジスタを右シフト	0111	
4	積レジスタのLSBが1なら被乗数を積レジスタの左半分に足す	0111	
4	積レジスタを右シフト	0111	

9

演習3解答:

Lecture 8 で扱った「最終バージョンの乗算アルゴリズム」に沿って、4ビットの被乗数 7_{10} と乗数 5_{10} の積を求める過程を書け。

⇒ 答えが $35_{10} = 100011_2$ になっていることを確認しよう

サイクル	ステップ	被乗数レジスタ	積レジスタ
0	初期值	0111	0000 <mark>0101</mark>
1	積レジスタのLSBが1なら被乗数を積レジスタの左半分に足す	0111	0111 <mark>0101</mark>
1	積レジスタを右シフト	0111	00111 <mark>010</mark>
2	積レジスタのLSBが1なら被乗数を積レジスタの左半分に足す	0111	00111 <mark>010</mark>
	積レジスタを右シフト	0111	000111 <mark>01</mark>
3	積レジスタのLSBが1なら被乗数を積レジスタの左半分に足す	0111	100011 <mark>01</mark>
3	積レジスタを右シフト	0111	0100011 <mark>0</mark>
	積レジスタのLSBが1なら被乗数を積レジスタの左半分に足す	0111	0100011 <mark>0</mark>
4	積レジスタを右シフト	0111	00100011

※ Lecture 8 Part 2の補足説明も参考にして下さい。

演習4:

- (1) 10進数の 1.0 および 2.0 を IEEE-754規格の単精度浮動小数点形式で表現した時の32ビットのビット列をそれぞれ8桁の16進数で表せ。
- (2) 10進数の 1.0 および 2.0 を IEEE-754規格の倍精度浮動小数点形式で表現した時の64ビットのビット列をそれぞれ16桁の16進数で表せ。
- (3) 10進数の 256.5 を IEEE-754規格の単精度浮動小数点形式で表現した時の32 ビットのビット列を8桁の16進数で表せ。
- (4) 10進数の -65536.125 を IEEE-754規格の倍精度浮動小数点形式で表現した 時の64ビットのビット列を16桁の16進数で表せ。

演習4解答:

- (1) 10進数の 1.0 および 2.0 を IEEE-754規格の単精度浮動小数点形式で表現した時の32ビットのビット列をそれぞれ8桁の16進数で表せ。
 - $1.0_{10} \rightarrow 0011 \ 1111 \ 1000 \ 0000 \ 0000 \ 0000 \ 0000 \ 0000 \ \rightarrow 3f800000$
 - $2.0_{10} \rightarrow 0100\ 0000\ 0000\ 0000\ 0000\ 0000\ 0000\ 0000$ $\rightarrow 40000000$
- (2) 10進数の 1.0 および 2.0 を IEEE-754規格の倍精度浮動小数点形式で表現した時の64ビットのビット列をそれぞれ16桁の16進数で表せ。
 - 1. $0_{10} \rightarrow 0011 \ 1111 \ 1111 \ 00000 \ 0000 \ 0000 \ 0000 \ 0000 \ 0000 \ 0000 \ 0000 \ 0000 \$
 - $2.0_{10} \rightarrow 0100\ 0000\ 0000\ 0000\ 0000\ 0000\ 0000\ 0000\ 0000\ 0000$ $\rightarrow 4000000000000$
- (3) 10進数の 256.5 を IEEE-754規格の単精度浮動小数点形式で表現した時の32 ビットのビット列を8桁の16進数で表せ。
 - 256. $5_{10} = 1000000000.1_2 = 1.000000001_2 \times 2^8$ $\rightarrow 0100 \ 0011 \ 1000 \ 0000 \ 0100 \ 0000 \ 0000 \ 0000 \ \rightarrow 43804000$
- (4) 10進数の -65536.125 を IEEE-754規格の倍精度浮動小数点形式で表現した 時の64ビットのビット列を16桁の16進数で表せ。
 - $-65536.125_{10} = -10000000000000000.001_2$ = $-1.000000000000000001_2 \times 2^{16}$

 - → c0f0000200000000